

How

ふたば未来学園高校
巻 10 号

H 28・3・18 「お元気ですか?」



are you?

震災から5年目。小学校5年生だったあの日から。高校1年生の終り春から高校2年生とは... 早くて長く、長くても早い5年でしたね。バラバラだった双葉郡の学校が、一歩を踏み出したことで、「ここにいる」というだけで復興への希望となっていること。忘れないで下さいね。「俺なんか...」「私なんて...」なんて思わずにみなさん一人一人が、大きな「力」となっているのですから...

本校だけでなく猪苗代校も三島長交校も全員が、1年を終り「今」だからこそもう一度原点に戻って一歩ずつ進んでいって下さい!

耳の言葉クイズ

「耳」を使った英語の表現の意味にあてはまるものは、どれでしょう。右の口の日本語から探してください。()内は直訳したもの。

- (1) bend somebody's ear (人の耳を曲げる)
- (2) flea in the ears (耳の中のノミ)
- (3) have long ears (長い耳を持っている)
- (4) My ears are burning (わたしの耳が燃えている)
- (5) I'm all ears (わたしは全部耳です)



- a いやみ、皮肉、当てこすり
- b さぐりたがる
- c 相手がうんざりするほどしゃべりまくる
- d 熱心に耳を傾けて聞く
- e だれかがうわさしている

日本の表現に似ているものもあれば、まったくちがうものもあり、おもしろいですね。
p (9) a (7) q (8) e (2) c (1) b (5)

3月3日は「耳の日」

耳はとても大切な情報収集器です。ところが耳は目違って涙を表面に出せません。いつもと違う①音が聞こえない②いびきをかく③TVの音が大きい④知らない間に口を開けているなんて感じることはありません。早めに耳鼻科へGo!!

につくき花粉症 まずは敵を知ろう

原因

●アレルギーとはなんだろう?

人のからだには病気を起こすウイルスなどが入ってくると、これを追いだそうとする働きがあります。アレルギーというのは、この働きが過敏になって花粉のように害のないものにまで反応を起こすことです。

●花粉症を引き起こす主な原因とその時期

2月			
3月	スギ	ヒノキ	
4月			
5月			
6月			イネ科
7月			
8月			
9月			アザミ
10月			ヨモギ

●花粉症は花粉に反応するアレルギー

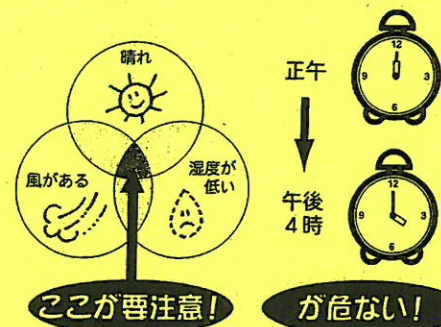
①花粉症の人には、花粉に対抗するもの(IgE抗体)がつくられます。

②この抗体は、鼻の粘膜に含まれる「肥満細胞」の表面にくっついて、花粉が入ってくるのを待ちかまえます。

③刺激物質が鼻の神経を刺激するとくしゃみがでます。血管などを刺激すると、鼻の粘膜がはれて、鼻水、鼻づまりが起こります。

④花粉が鼻に入り、抗体が花粉と結びつくと、肥満細胞からヒスタミンという刺激物質が出ます。

●花粉が飛びやすい環境条件



予防

- 外出のときはマスクをする。(専用のものも販売されています)
- 花粉が多い時間帯の外出はひかえる。
- 外出から帰ったら、玄関で服や髪をはたいて、室内に花粉を持ちこまないようにする。
- 窓は閉めておく。
- こまめに部屋のそうじをする。(部屋の中で空気清浄機を使うこともよい)
- 洗たく物は、よくはたいてからとりこむ。(乾燥機などを使って室内で乾かす)
- 手洗いやうがいをする。



I hope you are fine.

How

are you?

ふたばですか?

1年が過ぎて、3月18日(金)大きな声で
校歌を歌う姿に、大きく成長した子どもたちの姿が 自信にあふれていました。

校歌ぞおきばとニヨ

「腑に落ちるまで考える」
のフレーズが 第1位でした!!

第2位は

「学ぶ覚える身につける」
「遠くて近い私とあなた」

第3位は

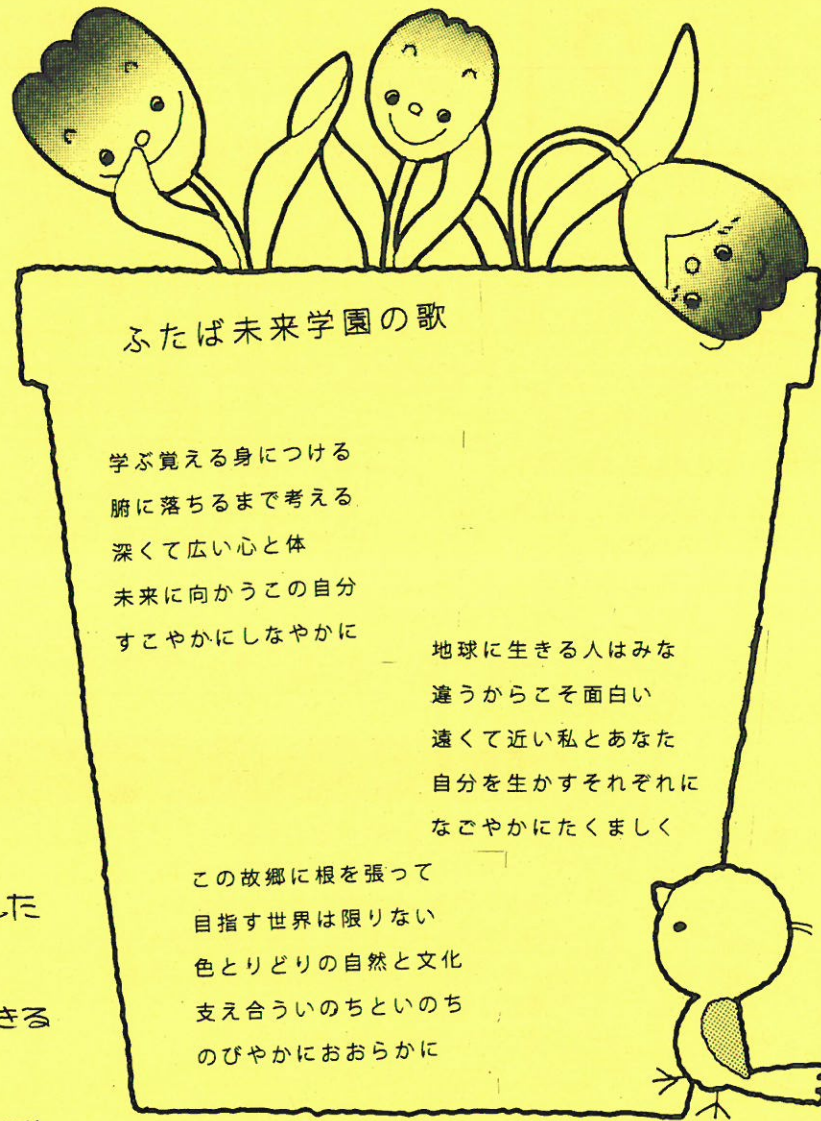
「違うからこそおもしろい」

今年 がんばれたこと

- ・休まずに学校へこれた
- ・友だちができた
- ・研修など積極的に参加した
- ・部活をがんばれた
- ・勉強をあきらめないうでできる
ようになった

新1年生へどのようにこの校歌
を伝えようか?

4月の保健だよりで紹介します。



校歌ぞ学んだこと・感じたこと

自分たちの校歌をどんな風に感じ学べたのか
子どもたちに話を聞いてみると……
嬉しい言葉や感動する思いもたくさんできたので
保健だよりに少しだけですがのせてみました。

- ・あきらめないうという事の大切さを知れた
- ・人とのつながり
- ・自分を生かすものはたくさんある
それを活かせるかどうか
- ・自分たちの可能性はまだ未知数だということ
- ・人は少しずつ成長しているんだということ
- ・学問とは学ぶだけで終わるのではなく、
それを自分の体にしみこませることによって達成感となる
- ・世界を見つめることができた
- ・一番の歌詞は今年体験できたことなので、一番
からは来年につなげたい
- ・校歌を実践するとよりよい生活を送れる
- ・支えあって人がつながる
- ・故郷を大切にしたいと思うことと、そこに住んで
いなくても故郷を思うことはできる
- ・生きることは大事だとあらためて感じた

※ 春休みも体に気をつけて!
たくさん学び休みながら来月に4日会いましょうね。

I hope you are fine.